

確かな手応えを得た 全日本選手権

日本のトップドライバー達がひしめき合うJMRC A全日本選手権。サーキットは走る実験室の言葉通り、貴重なデータを得ることができた。このレースで見事Aメインに入った前住選手の414Xが、国内市販バージョンTRF414のベース車両となったのであった。



TRFスタッフ全員のデータが前住車をサポートしたのだった



チームメイトのTRFメンバーが全日本選手権という実戦でのデータを集めて作られていった前住車。これと違って特別な加工はしていないが、モーターはオリオンのオスカー・ヤンセン氏が直々に作ったもので、アンプはLRPの最新V7.1など、トップドライバーらしき各パーツは一流メーカーがサポートしている

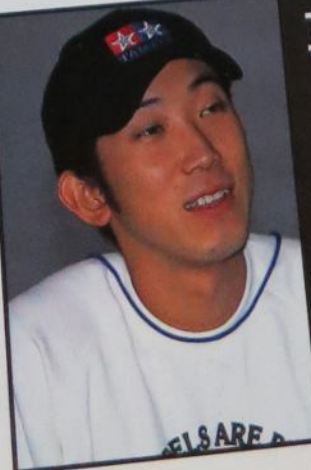
メインシャシーは谷田部アリーナが高速コースということもあり、できるだけ低い重心を実現するために、バッテリースロットの左右をカットしているのが分かる。他のシャシーと見比べてみればその違いも分かるだろう



イメージ...
ングの幅を広げる新しい設計...
クになったバネ下も軽量化し、どの...
ような状況にも対応できる414が

TRF前住選手が語る TRF414と全日本仕様車

414を何台か組み立てて、同じ仕様で走らせても走行フィーリングは全く同じなんですよね、このシャシーは。それだけ加工精度が高いということなんです。精度が高いということもあって、フリクションロスも少ない。僕はこれを一番強く言いたいですね。だから全日本の時も、TRFのメンバーがいろいろセットを教えてください、僕の車に反映できた。全日本は、僕の力じゃなくてTRF、タミヤ全員で勝ち取ったと言えるでしょうね。



なるポテンシャル...
った。今回発売された414はヘ...
スマシンがUS仕様の414Xとい...
うより、この全日本仕様の前住車...
ベースとなったと言った方が正解...
のである。